琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島情況雑件 第二巻

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 財産、請求権の処理問題, 鉱業権, 岩崎与八郎, 九州電力K・K, 奄美大島, 北緯三十度以南, 南西諸島、南方諸島及び南洋群島, 信託統治地域 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43869

5、

九州電力K・K所有の南西諸島所在財産

極秘

第五課長

九州電力株式会社の所有に係る南西諸島諸社財産に関する件

アカラ島 第五課
（昭二七、七、二四）

一、九州配電（昭二六、五、一）九州電力に权利義務の一切を引継ぎ具
請算中）は、昭和七年に配電統制令の趣旨に従い、奄美大島
及び沖縄所在の一切の発電、送電並に配電の施設を関係
各会社から承継し、終戦まで同地域の電気事業を経営をし
ていた。（終戦後はこれら施設に対し、九州配電ひは何等なすところ

外務省

かなく今日に至った。

二、昨今、奄美大島及び沖縄在住の舊従業員、その他の者
から、九州配電に対し、現地の施設の譲渡をしたいと日西安望があった
ので、九州配電では、貴方その他の面からこれらの施設を利用し事業
を再会することが困難な現状に鑑み、現地視察の上希望
者に譲渡する方針をたて、当課に種々問合わせるところが
あった。

外務省

三、右九州配電の問合に対し 概略次のとおり 口頭をもって

回答しておりた。

(1)、本件財産は、戦時国際法及び現地米管理当局

の財産に一般的関する処理の方針から推察すれば、九州配電の所有

権に属し、九州配電の所有権は尊重されているものと思われる。

(2) まづ現地に流航し、当該施設の現状を把握し、

米国氏政府から、九州配電の所有権を確認してもらうこと。

(3) 当該施設の譲渡に関しては、当方としては何等反対する

根拠はないが、同地域のステータス及び将来の日本復帰の

関係上、現地在住日本人に対する譲渡には賛成であるが、

米国その他第三国人に対して譲渡してもらうことを申

し入れておりた。

(4)、現地米管理当局との折衝、譲渡の変更又は現地根拠

その他に関連して、関係府 関方連絡事務局、大蔵庁、通産省等一も

連絡しておかれた方がよい旨を述べておりた。

(5)、本件に関しては、九州配電と現地米管理当局との話合により すべて解決すると思われること。何分困難な問題（例えば、その許可権否認の如し）が生じたときに始めて、当方が対米折衝を行うこととし、考慮すること。

外務省

アジア五課長

昭和二十七年五月二十三日

九州電力株式會社
總務部次長　沼田實

外務省
倭島アジア局長　殿

奄美大島及び沖繩所在財産の取扱いについて

九州配電株式會社（昭和二十六年五月一日九州電力株式會社に權利義務一切を引繼ぎ目下精算中）は昭和十七年に配電統制令の趣旨に基き奄美大島及び沖繩にあつた一切の發電、送電竝に配電の施設を別紙(1)の會社から承繼し終戰迄同地の電氣事業を經營しておりました。

終戰後は同地が米國の占領下に置かれ且つ連絡も不可能となつたので上記資産が如何なる狀態であるかは現地からの僅かな情報によつて知り得るたけで詳細については判明しておりません。

昨今同地居住の舊從業員或は現地の人から事業若くは設備の讓受の要望を受けて居りますが弊社としましては前述しました通り現況についての詳細が判明せず又關係官廳のこれ等財産についての取扱方針を伺はねばならぬ點もありますので會社としての意思表示は致しておりません。

就ては今後弊社の方針を樹てる必要もありますので講和條約發效後これ等資産の扱いについて使用、收益、處分一切の權限が弊社に與えられますかどうか及び所有權を認定して貰い又は行使するに必要な手續等について御指示下さるれば幸甚に存じます。

尚近く現況を正確に調査する爲に調査團を派遣致し度いと思いますので何分の御指導御協力を御願致します。

別紙(1)

當社が財産を承継した會社又は企業体名

大島電氣株式會社
古仁屋水電株式會社
大德水電株式會社
北大島電氣株式會社
知名村營電氣
沖縄電氣株式會社
宮古電氣株式會社
名護電灯株式會社
八重山電氣株式會社

以上

昭和二十七年五月二十三日

九州電力株式會社
總務部次長　沼田　實

外務省
倭島アジア局長　殿

奄美大島及び沖縄所在財産の取扱いについて

九州配電株式會社（昭和二十六年五月一日九州電力株式會社に權利義務一切を引繼ぎ目下精算中）は昭和十七年に配電統制令の趣旨に基き奄美大島及び沖縄にあつた一切の發電、送電並に配電の施設を別紙(1)の會社から承繼し終戰迄同地の電氣事業を經營しておりました。

終戰後は同地が米國の占領下に置かれ且つ連絡も不可能となつたので上記資産が如何なる狀態であるかは現地からの僅かな情報によつて知り得るたけで詳細については判明しておりません。

昨今同地居住の舊從業員或は現地の人から事業若くは設備の譲受の要望を受けて居りますが弊社としましては前述いたした通り現況についての詳細が判明せず又關係官廳のこれ等財産についての取扱方針を伺はねばならぬ點もありますので會社としての意思表示は致しておりません。

就ては今後弊社の方針を樹てる必要もありますので講和條約發效後これ等資産の扱いについて使用、收益、處分一切の權限が弊社に與えられますかどうか及び所有權を認定して貰い又は行使するに必要な手續等について御指示下さるれば幸甚に存じます。

尚近く現況を正確に調査する爲に調査團を派遣致し度いと思います。

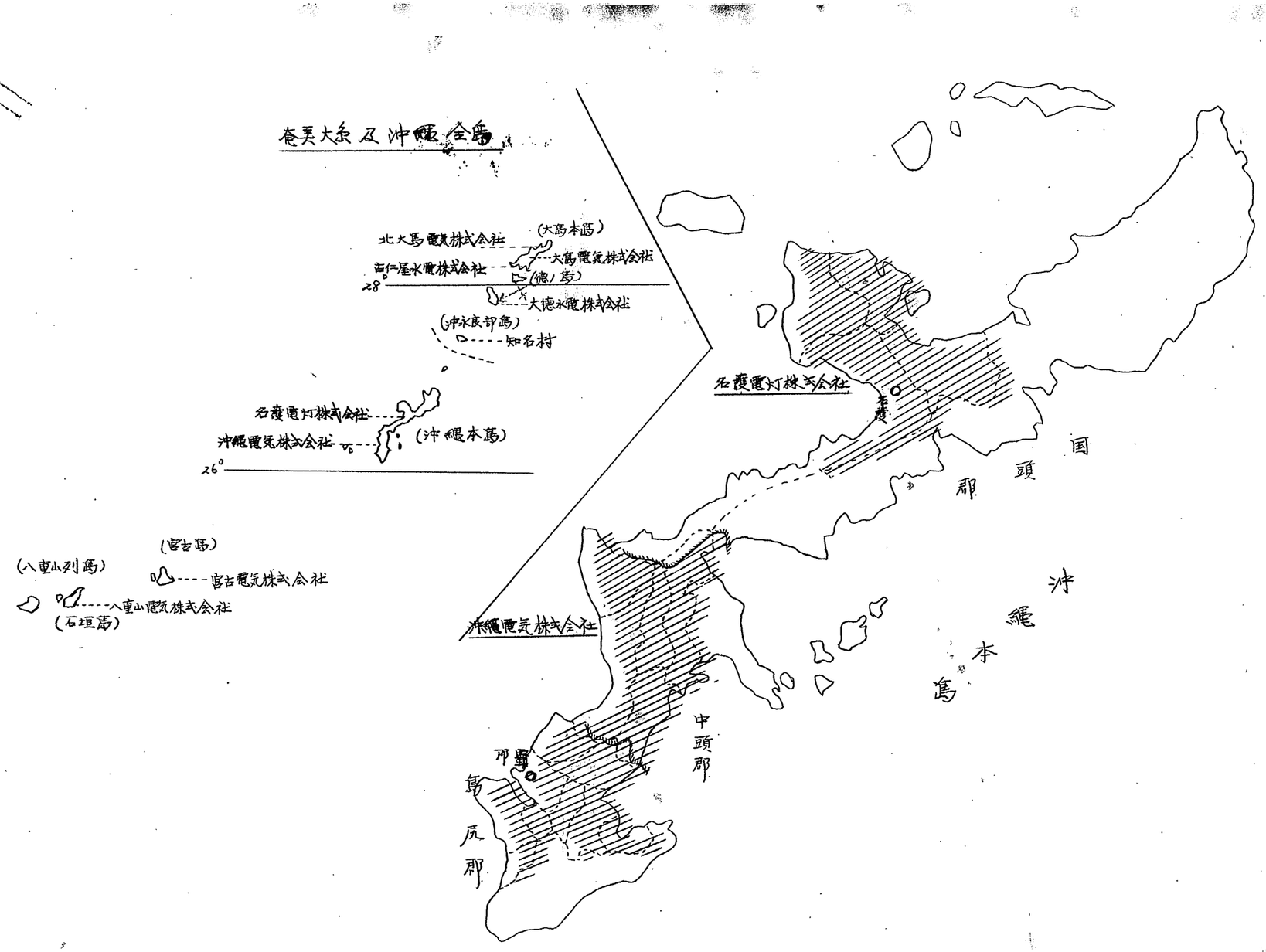
ので何分の御指導御協力を御願致します。

別紙(1)

當社が財産を承繼した會社又は企業体名

大島電氣株式會社
古仁屋水電株式會社
大德水電株式會社
北大島電氣株式會社
知名村營電氣
沖縄電氣株式會社
宮古電氣株式會社
名護電灯株式會社
八重山電氣株式會社

以上


奄美大島及沖縄全島
北大島電気株式会社
(大島本島)
古仁屋水電株式会社
大島電気株式会社
28°
(徳之島)
大徳水電株式会社
(沖永良部島)
知名村
名護電灯株式会社
沖縄電気株式会社
(沖縄本島)
26°
(宮古島)
(八重山列島)
宮古電気株式会社
八重山電気株式会社
(石垣島)
名護電灯株式会社
名護
沖縄電気株式会社
那覇
国頭郡
沖縄本島
中頭郡
島尻郡

九州電力株式會社
東京支社

九州配電北緯29°以南の設備の概要

1. 施設の承継の経緯

昭和18年2月買收によつて下記会社から取得した。

大島電気株式会社
古仁屋水電株式会社
大徳水電株式会社
北大島電気株式会社
知名村
沖縄電気株式会社
宮古電気株式会社
名護電灯株式会社
八重山電気株式会社

2. 施設の概要

A. 水力発電及内燃力発電設備（終戦当時）

発電所名	出力	備考
戸口水力発電所	75 K.V.A.	奄美大島
住用川水力発電所	600 K.V.A	〃
徳ノ島水力発電所	170 K.V.A.	徳ノ島
阿木名川水力発電所	75 K.V.A.	奄美大島
赤木名内燃力発電所	625 K.V.A.	〃
知名内燃力 〃	40 〃	沖永良部島 戦災焼失
田検川水力 〃	70 〃	奄美大島
名護内燃力 〃	110 KW	沖縄本島
美栄橋内燃力 〃	450 〃 1.875 K.V.A	〃 戦災
西仲曽根内燃力 〃	110 〃	〃
八重山内燃力 〃	75 〃 100 K.W	八重山群島
久茂地汽力 〃	958 K.V.A	沖縄本島 戦災

B. 配電設備及需要家屋内貸付設備もあり。

C. 土地、建物別紙の通り。

設備名	用途	所在地	構造	棟数	坪数
阿木名川発電所	内燃設備	古仁屋町大字阿木名字松花	木造木葺平家建	1	7.5
	倉庫	〃	〃	〃	3.75
	社宅	〃	〃	〃	25.0
	便所	〃	〃	〃	0.5
田検川発電所	発電所	宇検村大字田検	木造スレート葺平屋建	〃	11.0
	倉庫	〃	〃 板葺 〃	〃	2.0
	社宅	〃	〃 スレート葺 〃	2	56.0
	湯殿	〃	〃	〃	2.0
徳ノ島発電所	発電所	天城村瀬	鉄筋コンクリート造平家	1	20.0
	〃	竜字木瀬平	木造木葺平家建	〃	8.0
	〃	〃	〃 瓦葺 〃	〃	14.5
知名発電所	倉庫	知名町知名稲永299の1	〃 〃 〃	〃	5.0
	〃	知名町知名 8	〃	〃	〃
西仲曽根発電所	発電所	西仲宗根三	〃	〃	40.0
	附属倉庫	〃	〃	〃	12.0
	倉庫	西里 236	〃	〃	10.0
建物明細書					
住用川発電所	発電所	住用村大字神屋	鉄筋コンクリート平家建	1	23.8
	〃	〃	〃	〃	21.0
	社宅	〃	木造瓦葺平家建	〃	25.25
	〃	〃	〃	〃	21.5
	〃	〃	木造トタン葺平家建	〃	24.0
	〃	〃	〃	〃	23.0
	合宿所	〃	〃	〃	14.75
	倉庫	〃	〃	〃	18.0
	〃	〃	木造瓦葺平家建	〃	5.25
営業設備	倉庫	名瀬町伊津部24番地	〃 トタン葺 〃	〃	3.0
	〃	住用村字摺勝	〃 瓦葺 〃	〃	10.0
	散宿所	三高村大熊字浜田1183	〃	〃	14.75
	〃	〃	〃	〃	3.75
	打入井戸及ポンプ水槽	〃			

戸口発電所	発電所	竜郷村大字戸口	木造スレート葺一部木羽	1	15.15
	附属建物	字上南川 26の7	木造平木葺平家建	〃	14.75
	〃	〃	〃 トタン葺 〃	〃	17.00
阿木名川発電所	発電所	古仁屋町大字阿木名字牧崎	〃 〃 〃	〃	18.13

土地明細書

用途	所在地	地番	地目	公簿地積
事務所用地	名瀬市伊津部久保里	24	宅地	171坪81
散宿所	住用村摺勝登1小屋	610の3	原野	5畝27歩
〃	三方村小浦字高釜	126	宅地	16坪2合45
		124	〃	203坪
		125	〃	27 〃
		128-2	〃	29 〃
住用川発電所	住用村神屋字上田	176	山林	3反5畝9歩
	住用村屋入川	249-2	〃	7町6反5畝26歩
	〃	〃	宅地	203坪55
	住用村神屋字上田	175	畑	2反19歩
	〃	174の4	〃	9畝11歩
	〃	174-1	〃	4反6畝19歩
	〃	174-2	〃	4畝14歩
	〃	173の3	〃	1反
	〃	174の3	宅地	16坪1合29
	住用村神屋字石屋川	250	原野	7反8畝10歩
	〃	2517	〃	6反
散宿所	住用村西仲間上川	277	宅地	141坪
戸口発電所	竜郷村大字戸口字上南川	2617	畑	1反7畝24歩
	〃	2614	原野	1歩
	〃	2600	〃	1畝15歩
	〃	2610	〃	8畝
	〃	2611	〃	10歩
赤木名発電所	笠利村大字外金久字念崎	1931	畑	3畝10歩
	〃	177の2	〃	3歩
事務所用地	古仁屋町古仁屋字船瀬	719の1	宅地	84坪
事務所用地	古仁屋町古仁屋字船瀬	720の9	宅地	9坪
	〃	719の2	〃	22 〃
		578の1	〃	157 〃
田検川発電所	平検村大字田検字整地	528	田	1畝24歩
	〃	529	〃	1 〃 26 〃
	〃	530	〃	20 〃
	〃	507	〃	24 〃
	〃	508	〃	21 〃
	〃	509	〃	9 〃
	〃	510	〃	14 〃
	〃	511	〃	27 〃
	〃	512	〃	15 〃
	〃	513	〃	12 〃
	〃	514	〃	14 〃
	〃	515	〃	12 〃
	〃	516	〃	17 〃
	〃	517	〃	14 〃
	〃	519	〃	15 〃
	〃	521	〃	13 〃
	〃	524	〃	15 〃
	〃	525	〃	22 〃
	〃	526	〃	19 〃
	〃	527	〃	12 〃
	平検村大字田検字能路川	1,035	原野	1畝20歩
	平検村大字田検字永山	1,034	〃	21 〃
	〃	1,034-2	〃	6 〃
	〃	1033	〃	3畝1歩
	〃	1031	〃	4 〃 8 〃
	〃	1,028	〃	4 〃 13 〃
	〃	1,025	〃	3 〃 99 〃
	〃	1,024	〃	1畝21歩
	〃	1,023	〃	5 〃 19 〃
	〃	1,017	〃	2 〃 7 〃
	〃	1,019	〃	2 〃 16 〃

田植川発電所	宇検村大字田検字永山	1015	原野	1畝28歩
	〃	1014	畑	8畝23歩
	〃	1012	原野	4″ 13″
	〃	1034,2	〃	1″ 20″
	〃	1006,2	〃	2″ 9″
	〃	1005	〃	5″ 1″
	〃	1003	〃	7″ 2″
	〃	993	〃	1″ 28″
	〃	992	〃	5″ 7″
	〃	987	〃	8
	〃	990	〃	1″ 7″
	〃	997	〃	29
	〃	〃	〃	1畝17歩
	〃	992	〃	1″ 16″
	〃	997	〃	24
	〃	〃	〃	21
阿木名川発電所	古仁屋町大字阿木名字板花	1509,2	〃	28
	〃	1506	〃	1畝24歩
	〃	1510	畑	7″ 15″
徳之島第一発電所	天城村瀬滝字木瀬平	1538	〃	2反1畝23歩
	〃	1539イ	〃	2反 24歩
	〃	1539ロ	宅地	45歩
	〃	1531	畑	2畝13歩
	〃	1537ロ	〃	1″ 12″
	〃	1517/3507	原野	1町1反 12歩
	〃	1517/4	〃	1反3畝18歩
	〃	1517/9	〃	12″
	〃	1528/2	畑	2畝28歩
	〃	1522/2	〃	3″ 7″
	天城村瀬滝字上坂	372ロ	〃	3″ 15″
	〃	374/10.12.13	原野	2反2畝 9歩
	〃	374/6.7.8	〃	3反 1歩
	〃	371/2	畑	1畝15歩
知名発電所	知名村知名字稲水	298	田	3″ 21″

知名発電所	知名村知名字稲水	299,1	田	21歩
	〃	375,3	〃	19″
		376,1	〃	16″
沖縄支庁美栄橋発電所 久茂地	那覇市美栄橋町	202	宅地	229坪8
	〃	203	〃	21″ 8
	〃	204	〃	71″ 2
	〃	205	〃	156″ 5
	〃	207	〃	274″ 4
	〃	208	〃	591″ 3
	〃	217	〃	1013″ 1
	那覇市宗元寺町	1の134の2	〃	27″ 5
	〃	1の135	畑	25歩
	〃	1の137	〃	3反5畝19歩

備考 土地建物についてはまだこの表以外にも所有の物があると思はれるが引継書又は現地からの報告によつて確認したものだけを記載した。

北緯29度以南電気設備概要（昭和12年当時）

（第29回（昭和13.3）電気事業要覧より抜萃）

事業者	発電所名	位置	原動力	出力 (Kw)	配電線亘長 (Km)	支持物総数	配電用変圧器総容量 (KVA)	固定資産	電灯取付数	電力契約Kw数	電熱其ノ他契約Kw数	供給区域
大島電気株式会社	住用川第二	鹿児島 大島 住用村	水力	350	52.9	1,122	963	276,478	13,002	108.0	42.0	大島郡 名瀬町 住用村 三方村
古仁屋水電株式会社	阿木名川	〃 〃 古仁屋町	水 瓦	60	12.6	245	85	105,738	1,857	9.3	22.5	大島郡 東方村
大徳水電株式会社	第一（徳ノ島）	〃 〃 天城村	水	125	94.0	—	85	460,706	3375	68.4	170.0	大島郡 天城 東天城 亀津 伊仙 各村
北大島電気株式会社	戸口	〃 〃 龍郷村	水	60								
								176,001	3,644	38.0	—	
	赤木名	〃 〃 笠利村	油	50	89.3	1,774	112	~~103,931~~	~~1,309~~	—	—	大島郡 龍郷村 笠利村
知名村	知名村電気	〃 〃 知名村	油	40	—	—	—	103,931	1309	—	—	大島郡 和泊村 知名村
沖縄電気株式会社	久茂地	那覇市美栄橋町2丁目	汽力	800								那覇市 首里市 島尻郡 島和志 小禄 豊見城 兼城 各村 糸満町 南風原 大里 佐敷 各村 中頭郡 西原 浦添 美里 中城 北谷 越来 読谷山 各村
	美栄橋	仝 上	油	1500	148.0	3107	2304	1,012,531	44,363	347.8	142.2	
宮古電気株式会社	西仲宮根	沖縄 宮古 平良町	油 瓦	85	15.7	344	87	405,40	3,777	—	0.5	沖縄 宮古郡 平良町
名護電灯株式会社	名護	〃 国頭 名護町	油	130	67.2	1,163	110	234,918	7,126	—	—	沖縄 国頭郡 名護町 本部 今帰仁 羽地
八重山電気株式会社	八重山	〃 八重山 石垣町	瓦	50	22.6	499	65	129,854	3,131	—	—	八重山郡 石垣町 大浜村
古仁屋水電株式会社	田検川	奄美大島	水	—	—	—	—	—	—	—	—	—